# speclist.txt ファイルフォーマット変更に伴う SwissProt データベースの再構築と設定変更について

# 1. はじめに

MASCOT にて Taxonomy 設定に利用していた **speclist.txt** ファイルのフォーマットが変更された ため、SwissProt のバージョン 2011\_06 更新後、**taxonomy を選択して SwissProt で検索をしても** 結果がでない(Wot? No Results と表示される、下図)問題が発生しています。



今後リリース予定の MASCOT ver 2.4 以降ではこの問題に MASCOT プログラム側で対処する予定で すが、現在 MASCOT ver 2.3 以下をご利用の方が問題を解決するためには、弊社で修正した speclist.txt を MASCOT サーバーの所定の場所にコピーし、SwissProt データベースを再度構築する 必要があります。また、問題解決後再び同じ問題が起きないよう、speclist.txt の入手先を弊社サイトに 変更するよう、設定を変更する必要があります。

本資料では修正版 speclist.txt ファイルの入手並びに SwissProt データベースの再構築方法(項目2) と、データベース自動更新プログラム db\_update.pl が speclist.txt を入手する先を EBI から弊社サイ トへと変更する設定方法(項目3)について記しています。

最新の情報が弊社 WEB サイトにおいても公開されております。そちらも併せてご参照ください。 <u>http://www.matrixscience.com/help/seq\_db\_setup\_Sprot.html</u>

# 2. 修正版 speclist.txt ファイルの入手、並びに SwissProt データベース

## の再構築方法

ファイルの入れ替えとデータベースの再構築は、以下の手順で行います。

- ① 修正版 speclist.txt ファイル取得
- ② speclist.txt ファイルの入れ替え
- ③ MASCOT サービスの停止
- ④ .stats ファイルの削除
- ⑤ MASCOT サービスの開始
- ⑥ データベース構築の確認、検索テスト
- ① 修正版 speclist.txt ファイル取得

以下の URL (弊社 WEB サイト)から speclist.txt ファイルを取得します。

http://www.matrixscience.com/downloads/speclist.txt

ウェブブラウザで直接上記 URL を開いた場合、テキストファイルが開かれた状態になると思いますが、 「保存」「名前をつけてページを保存」などで当該ファイルをそのまま保存してください(下図)。

・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	t 👌 - (C) 🛃 - Googl	e
UniProt Knowledgebase: Swiss-Prot Protein Knowledgebase TrEMBL Protein Database Swiss Institute of Bioinformatics (	② 名前を付けて保存 ○○○○○○○○ ・ コンピューター → SD / MMC (F:) → temp	↓ ・ <sup>4</sup> 2 tempの検索 ♪
European Bioinformatics Institute ( Protein Information Resource (PIR); 	整理 ▼ 新しいフォルダー ■ ビデオ ^ 名前 ♪ ミュージック	更新日時         種類         1
Description: Controlled vocabulary of speci Name: speclist.txt Release: 2011_06 of 31-May-2011	様衆条件に	一致する項目はありません。
See the UniProtKB user manual for a descrip the creation of the organism (species) iden	SD / MMC (F:)	
- The letter which follows each code indica organism belongs to. It can be one of the	ファイル名(N): <mark>speciist.txt</mark> ファイルの種類(T): Text Document	• •
	● フォルダーの非表示	保存(S) キャンセル

ブラウザで直接入力するのが苦手な方は、以下のリンクをたどりファイルを入手してください。

<u>www.matrixscience.com</u> のページ(キーワード 'mascot' 検索するとだいたいトップで出てきます) →HELP→Sequence Database Setup → SwissProt

\*ローカルの MASCOT Server でなく、公開 WEB サイトの方です。間違えないようにしてください。

画面上部の「speclist.txt」ハイパーリンクを右クリックし、「対象をファイルに保存」「名前をつけて リンク先を保存」を選びます(下図)。



## ② speclist.txt ファイルの入れ替え

MASCOT サーバー上の、MASCOT がインストールされているフォルダ(通常 C:¥netpub¥mascot フォルダ)以下、taxonomy フォルダ内の speclist.txt ファイルについて、バックアップを取った上で、 **①で取得したファイルと入れ替えます**(下図)。入れ替えは上書き置換などで行います。

O     O	カル ディ	スク(C:) 🖡 inetpub 🖡 mascot 🛛	taxonomy	▼ 4 taxonomy	の検索
整理 ▼ ライブラリに追加 ▼ 共有	•	書き込む 新しいフォルダー			··· ·
숡 お気に入り	<b>*</b>	名前	更新日時	種類	サイズ
🚺 ダウンロード		history	2011/04/26 4:25	HISTORY ファ	1 KB
🜉 デスクトップ		citations.dmp	2011/04/26 3:20	DMP ファイル	8,578 KB
1911 最近表示した場所		delnodes.dmp	2011/04/26 3:20	DMP ファイル	2,083 KB
		division.dmp	2011/04/26 3:20	DMP ファイル	1 KB
	=	est.dmp	2000/11/15 16:13	DMP ファイル	16 KB
		gc.prt	2011/04/26 3:20	PRT ファイル	11 KB
■ ドキュメント		gencode.dmp	2011/04/26 3:20	DMP ファイル	4 KB
📔 ピクチャ		gi_taxid_prot.dmp	2011/04/25 6:26	DMP ファイル	634,942 KB
📑 ビデオ		index.html	2011/04/26 4:09	Firefox Document	4 KB
👌 ミュージック		imerged.dmp	2011/04/26 3:20	DMP ファイル	333 KB
-		📄 names.dmp	2011/04/26 3:20	DMP ファイル	59,364 KB
え ホームガループ		nodes.dmp	2011/04/26 3:20	DMP ファイル	49,400 KB
		owl.dmp	1999/09/21 15:50	DMP ファイル	8 KB
		readme.txt	2006/06/14 4:04	テキスト ドキュ	3 KB
■ コンピューター	_ <	📄 speclist.txt	2011/05/31 13:41	テキスト ドキュ	1,592 KB
🏭 ローカル ディスク (C:)		usernodes.dmp	2000/07/31 11:17	DMP ファイル	1 KB
👝 SD / MMC (F:)					

speclist.txt ファイルフォーマット変更に伴う SwissProt データペースの再構築と設定変更について



### ④ .stats ファイルの削除

MASCOT サーバー上の、MASCOT がインストールされているフォルダ(通常 C:¥netpub¥mascot フォルダ)以下、sequence¥SwissProt¥current フォルダを開き、SwissProt\_2011\_06.stats ファイ ルを削除します。

😋 🕣 👻 🕌 « ローカル ディスク (C:	) + inetpub + mascot + sequence + SwissProt + curre	ent 🗸 49	currentの検索	<mark>−× □</mark>
整理 ▼ □ 開く ▼ 書き込む	新しいフォルダー			. 0
☆ お気に入り	▲ 名前 <sup>▲</sup>	更新日時	種類	サイズ
J ダウンロード	SwissProt_2011_06.a00	2011/06/08 12:16	A00 ファイル	8
■ デスクトップ	SwissProt_2011_06.dat	2011/06/06 3:03	DAT ファイル	2,425
④ 最近表示した場所	SwissProt_2011_06.fasta	2011/06/06 1:15	FASTA ファイル	244
	SwissProt_2011_06.fasta.529056.index	2011/06/13 14:38	INDEX ファイル	11
	SwissProt_2011_06.i00	2011/06/08 12:16	IOO ファイル	24
	SwissProt_2011_06.nam	2011/05/31 13:37	NAM ファイル	
■ ドキュメント	SwissProt_2011_06.NoTaxonomyMatch.txt	2011/06/08 12:16	テキスト ドキュ	
📄 ピクチャ	SwissProt 2011 06.s00	2011/06/08 12:16	S00 ファイル	183
N 277	SwissProt_2011_06.stats	2011/06/08 12:16	STATS ファイル	
👌 ミュージック	SwissProt_2011_06.t00	2011/06/08 12:16	T00 ファイル	4
	名前	更新日時	種類	サイズ
	SwissProt_2011_06.a00	2011/06/08 12:16	A00 ファイル	
$\langle \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \$	SwissProt_2011_06.dat	2011/06/06 3:03	DAT ファイル	2,42
	SwissProt_2011_06.fasta	2011/06/06 1:15	FASTA ファイル	24
	SwissProt 2011 06.fasta.529056.index	2011/06/13 14:38	INDEX ファイル	1
	SwissProt 2011 06.i00	2011/06/08 12:16	I00 ファイル	2
	SwissProt 2011 06.nam	2011/05/31 13:37	NAM ファイル	
	SwissProt 2011 06.NoTaxonomyMatch.txt	2011/06/08 12:16	テキスト ドキュ	
	SwissProt 2011 06.s00	2011/06/08 12:16	500 ファイル	18
	SwissProt_2011_06.t00	2011/06/08 12:16	T00 ファイル	



⑥ データベース構築の確認、検索テスト

サービス開始後、SwissProt データベースの再構築が始まります。再構築の状況を確認するためには、 Database Status 画面を開き、SwissProt の Status 項目をご覧ください。 Database status 画面へのアクセス方法は以下の通りです。

MASCOT の Home 画面を開き、「Database Status」をクリックします。



Name 項目が "SwissProt"の箇所を探します。SwissProt の中身に関する内容が書かれています。 Status 項目はデータベースの現状を表しており、サービス開始後まもなくは"Creating compressed files N % complete"となっているはずです。これはデータベース構築中であることを表しています。

Firefox 🕶	X-
Matrix Science - Home × Mascot search status page × +	
🔄 🛧 🗋 http://beekoma/mascot/x-cgi/ms-status.exe	م ۲
🙆 よく見るページ 🕘 Firefox を使いこなそう <u>ы</u> 最新ニュース	
Status - Nor In Ose <u>Statustics</u> State Time = Thu Jan 01 09:00:00 # searches = 0 Mem mapped = NO Request to mem map = YES Request unmap = NO Mem locked = NO Number of threads = 8 Current = NO	^
Name = <u>SwissProt</u> Family = C:/inetpub/mascot/sequence/SwissProt/current/SwissProt_*.fasta	a =
Status = Creating compessed files 7% complete	• _
State Inne - Fou dun 14 10-27-46 i scarches - 0 Mem mapped = NO Request to mem map = YES Request unmap = NO Mem locked = NO Number of threads = 8 Current = NO	

#### 最終的に Status 項目が"In Use"となれば構築完了,使用可能です。



Status が In Use になったのち、確認のため検索テストを行ってください。テスト時は何かしらの taxonomy を選択した上で検索を行ってください。

Firefox 🔻					
Matrix Scien	ce - Home	× 🗋 Mascot search status page	× 🗽 Mati	rix Science - Mascot - MS/MS × +	- 📰
<b>( )</b>	http://w	ww.matrixscience.com/cgi/search_form.pl		📩 - C 🔮	- Google 🔎
▶ よく見るページ	🕫 🥘 Firefox	を使いこなそう 🔊 最新ニュース			
{MATRI {SCIENC		HOME WHAT'S NEW	MASCOT HELP P	RODUCTS : SUPPORT : TRAINING : CONTAC	r Search Go
Mascot	: > MS/MS 1	ions Search			
МА	scot	MS/MS Ions Search	I		
Y.	our name	takaesu	Email	takaesu@matrixscience.com	
Se	earch title	MS/MS Example			
Dat	tabase(s)	Invertebrates_EST	Enzyme	Trypsin -	
		Fungi_EST	Allow up to	1 - missed cleavages	=
		Environmental_EST SwissProt	Quantitation	None 👻	
	axonomy	Mammalia (mamma	als)		
mod	Fixed lifications	none selected	>	Acetyl (K) Acetyl (N-term) Acetyl (Protein N-term) Amidated (C-term)	
		Display all modifications		Ammonia-loss (N-term C)	
mod	Variable lifications	Oxidation (M)	>	Biotin (K) Biotin (N-term) Carbamidomethyl (C) Carbamyl (K) Carbamyl (N-term)	•
Pept	tide tol. ±	0.2 Da 🔹 # <sup>13</sup> C 0 🔹	MS/MS tol. $\pm$	0.2 Da 👻	
Peptic	de charge	2+	Monoisotopic	Average	
	Data file	C:\Auto MSMS output\Sample 1.pkl			
Da	ta format	Mascot generic	Precursor	m/z	-

# 3. データベース自動更新プログラム db\_update.pl が今後 EBI で公開し

### ている speclist.txt を取得しないようにする設定方法

項目2の処置を行いデータベースが正常に動作した後も、データベースの更新を行い speclist.txt が 新しくなると再び同じ問題が起きてしまいます。 今後問題を発生させないためにはデータベースの更新を 止めるか、以下のようにデータベースの自動更新プログラムの内容を一部書き換えてください。

MASCOT サーバー上の、MASCOT がインストールされているフォルダ(通常 C:¥netpub¥mascot フォルダ)の bin フォルダを開き、db\_update.pl のバックアップを取った上で、db\_update.pl をテキ ストエディタで開きます。db\_update.pl をテキストエディタで開く方法は、ファイルを選択し右クリッ クして「編集」を選択するか、プログラムから開く→「メモ帳」または「ワードパッド」を選びます。

#### \* NotePad,WordPad どちらでもOKです。

		(C) ))/ II (O) (O) - (A)	<sup>2</sup> <b>b</b> $\exists = i(c)$	NL II (O) 🚳 –	. 🚳 🥂	
	14	開く(0)	10/- /+2151•			(5) -
		編集(F)			<u> </u>	(0) •
マート・コンピューター ・ローカルディスク(C:	)	Microsoft Security Essentials プログラムから開く(H)	でスキャンします	arch binの検索		X X
		いきなりPDF 7 でPDF作成				
整理 ▼ 🍂 開く ▼ 書き込む 新しいフォルダー	P	新しい暗号化アーカイブに追加	(A)		iii 🔹 🔲	0
A 10年1月1日 A 25前	P	既存の暗号化アーカイブに追加	(D)		サイズ	*
	s 🔒	Personal Safe (こ追加(P)		リケーション	1,166 KB	
🎉 ダウンロード 📧 m	15			リケーション	1,053 KB	
📃 デスクトップ 📰 m	s	以前のハージョンの復元(V)		リケーション	3,674 KB	
🔛 最近表示した場所 🗉 📰 m	s	送る(N)		・ リケーション	1,407 KB	
D m	ic	t刀り取り(T)		ファイル	1 KB	
ライブラリ 満し	a	¬⊮−(C)		ファイル	11 KB	
■ ドキュメント	zi	22 (0)		リケーション	752 KB	
🔤 ピクチャ 🤎 gi	zi	ショートカットの作成(S)		リケーション	100 KB	
G G	D	削除(D)		ファイル	61 KB	E
	ni	名前の変更(M)		アイル	4 KB	
<ul> <li>コニーシック 添di</li> </ul>	s	プロパティ(R)		アイル	2 KB	
Jim di	_upo	uace.pr	2011/00/13 9.30	<del> ク</del> アイル	51 KB	
📢 ホームグループ 🛛 🍭 b:	zip2-1	1.0.3-1.exe	2007/03/12 9:51	アプリケーション	690 KB	
🖉 hr	rin2 e	ave.	2007/03/12 0.50	アプリケーミュン	124 KB	



SwissProt 更新時に speclist.txt ファイルを取得するサイトを、EBI から MatrixScience 社のサイトに 変更します。

ファイル取得の記述箇所を見つけるため検索機能を使います。ファイルを開いた後、Ctrl+F またはメ ニューバーから「検索」を選びます。検索欄に、「SwissProt\_complete」と入力し、検索を実行しま す。

検索			×
検索する文字列( <u>N</u> ):	SwissProt_co	mplete	/次を検索( <u>F</u> )
□ 大文字と小文字を区】	에す오( <u>C</u> )	検索する方向 う 上へ(U)   ● 下へ(D)	キャンセル

検索後最初に SwissProt の更新に関する記述場所が見つかります。



\$taxonomy\_file\_url[1] をご覧ください。取得するファイルが

"ftp://ftp.ebi.ac.uk/pub/databases/uniprot/current\_release/knowledgebase/

complete/docs/speclist.txt";

となっていますが、これを

"http://www.matrixscience.com/downloads/speclist.txt";

に変更します。特に、行最後の';'を忘れないよう、ご注意ください。

1	db_update.pl - 义モ帳		)	٢
F	ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)			
ŧ	# SwissProt_complete_from_EBI			*
	<sup>†</sup> ] elsif (\$ARGV[0] eq "SwissProt_complete_from_EBI") {	.txt";		
ľ	"ftp://ftp.ebi.ac.uk/pub/databases/uniprot/current_release/knowledgebase/complete/uniprot_sprot.dat.gz";			
+	\$taxonomy_file_url[1]       = http://www.matrixscience.com/downloads/specifist.txt;         werstor_regex       = wisstrocress.com/downloads/specifist.txt;			
ŧ	wissProt_varsplic_from_EBI			
Ŧ	<sup>f</sup> ]elsif (\$ARGV[0]eq "SwissProt_varsplic_from_EBI") { \$db_name = "SwissProt"; \$local_incoming_directory = "\$SEQUENCE/SwissProt/incoming";			Ŧ

さらに続けて、「# Only」を検索します。「#」と「Only」の間にはスペースが入りますのでご注意くだ さい。

検索			×
検索する文字列( <u>N</u> ):	# Only		次を検索( <u>F</u> )
□ 大文字と小文字を区別	する( <u>C</u> )	検索する方向 ◎ 上へ(リ)  ◎ 下へ( <u>D</u> )	キャンセル

検索後表示される行「 # Only use --ignore-length option if desperate」の1つ上の行、

「 \$sysCall .= " --directory-prefix=\$download\_directory";」を書き換えます。元々あった行 の先頭に「#」をつけてコメントアウトした後、以下の例のような6行を追加します。行は直接入力か、 コピー&ペーストで貼り付けてください。難しく感じられるようでしたら、弊社の技術サポートまでご連 絡ください。ご連絡頂く際には、MASCOTの標準フォルダ(デフォルトは C:¥inetpub¥mascot )の場所 も合わせてご連絡ください。

【変更前】

```
$sysCall .= " --directory-prefix=$download_directory";
# Only use --ignore-length option if desperate
# if ($url =~ /^http:/i) {
```

#### 【変更後】

```
# $sysCall .= " --directory-prefix=$download_directory";
if ($remoteName=="speclist.txt") {
    $sysCall .= " -O $download_directory"."/$remoteName";
    $sysCall =~ s#¥¥#/#g;
}else {
    $sysCall .= " --directory-prefix=$download_directory";
    }
# Only use --ignore-length option if desperate
# if ($url =~ /^http:/i) {
```

```
最終的には次ページ図のようになるかと思います。
```

```
(図は挿入場所を分かりやすくするため###などの行も追加されています。)
```

speclist.txt ファイルフォーマット変更に伴う SwissProt データペースの再構築と設定変更について



#### 変更後、ファイルを上書き保存します。



作業はこれで終了です。更新プログラムがうまく動くかどうかについては、1カ月後のデータベース更新 にてご確認ください。

資料は以上です。

ご不明点などありましたら技術サポート担当者にご連絡ください。

マトリックスサイエンス株式会社

〒101-0021 東京都千代田区外神田 6-10-12 KNビル3階

電話:03-5807-7897

電子メール: support-jp@matrixscience.com